

2025 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 エ ヴ ィ ク サ ー 株 式 会 社
(コード：4257 TOKYO PRO Market)

代 表 者 名 代表取締役社長CEO 瀧 川 淳

問 合 せ 先 執 行 役 員 C F O 渡 辺 真 次 郎

TEL 03-5542-5855 (代表)

URL <https://www.evixar.com/ir>

2025 年 12 月期中間期連結業績と前期中間期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 12 月期（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）の通期連結業績に係る業績予想に関して、2025 年 2 月 14 日付けの「2024 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」における記載のとおり、現状、子会社の設立によるグループ再編並びに連結グループ全体としての事業構造の再構築を図っており、現時点において売上高及び営業利益以下の各段階利益を合理的に算定することが困難であることから、開示を行っておりません。

かかる状況において、2025 年 12 月期中間期の連結業績について、前期（2024 年 12 月期）中間期の実績値との間に差異が生じております。形式的には適時開示の義務は生じないところですが、引続き業績予想の開示が困難であることに鑑み、業績予想未開示の状況を補完するとともに、中間期末を迎えたタイミングにおいて足元の業績動向を開示することが適時開示制度の本旨にも適うとの考えから、2025 年 12 月期中間期の連結業績と前期中間期実績値との間に生じた差異について、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は、2025 年 5 月 22 日付けの「臨時株主総会招集のための基準日設定及び臨時株主総会の開催並びに TOKYO PRO Market における当社株式の上場廃止申請に関するお知らせ」及び 2025 年 7 月 4 日付けの「臨時株主総会の決議結果及び上場廃止申請に関するお知らせ」のとおり、2025 年 8 月 4 日をもって上場廃止となるため、当該上場廃止日までに 2025 年 12 月期中間期の決算集計作業等が確定しないことをもって 2025 年 12 月期中間期の決算発表は行いません。

記

1. 2025 年 12 月期中間期の連結業績と 2024 年 12 月期中間期の連結業績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2024 年 12 月期中間期実績 (A)	118	△44	△50	△52	△18.25
2025 年 12 月期中間期実績 (B)	187	20	14	14	5.02
増減額 (B-A)	69	64	64	66	
増減率 (%)	58.5%	—	—	—	

2. 差異の理由

連結業績につきましては、2021 年 12 月に東京証券取引所 TOKYO PRO Market に当社普通株式を上場して以来、注力してまいりました既存事業の挺入れ並びに 4 つの「新技術」(①Web ブラウザ対応、②用途追究「収益型ペンライト・グッズ開発」、③パッケージ化によるサービスの輸出入展開、④社会課題解決に関連する官公庁系助成)への積極的な投資と取組みが奏功し、2024 年 12 月期通期の売上高は対前期比 41.6%増となりました。

2025 年 12 月期においても引続き好調に進捗しており、映画を中心としたエンターテインメント関連の事業が堅調に推移するとともに、上記の取組みのうち、②用途追究「収益型ペンライト・グッズ開発」では NPB、J リーグ並びに B リーグ等のプロスポーツ業界への浸透、④社会課題解決に関連する官公庁系助成では生成 AI 分野における総務省開発・実証事業(「インターネット上の偽・誤情報対策技術の開発・実証事業」)への 2024 年度に引き続いての 2025 年度採択決定並びに商用化への取組み等、「新技術」の本格的な社会実装に向けて着実に前進しております。

以上の結果、2025 年 12 月期中間期の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益について、上表のとおり、それぞれ前期実績値との間に差異が生じております。

以 上